

次期福祉計画策定に向けた福祉エリア（日常生活圏域）の見直しについて

府中市福祉計画検討協議会（R1.10.3）資料 2

1 趣旨

令和 3 年度から令和 8 年度を計画期間とする次期福祉計画の策定に併せ、福祉エリア（日常生活圏域）の在り方を見直す。

2 福祉施策を取り巻く現状と課題

(1) 福祉ニーズの多様化・複雑化

- ・個人や世帯が抱える様々な福祉課題について一体的に対応することが求められている。
- ・高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉等の従来の福祉分野を超えた包括的な支援体制の構築が求められている。

(2) 人間関係の希薄化を背景とした「社会的孤立」や「制度の狭間」の問題などが表面化

- ・公的なサービスの充実のみならず、地域における住民の支えあいによる仕組みづくりが必要

3 国の動向

国は、「我が事・丸ごと 地域共生社会の実現」に向けて、社会福祉法、介護保険法等の関係法律の改正等をはじめとして、次に掲げる取組を進めている。

(1) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり（「他人事」を「我が事」に変えていく取組）

(2) 地域の生活課題を包括的に受け止める体制の構築等（「縦割り」から「丸ごと」への転換）

4 国の動向等を踏まえた府中市における課題等

福祉施策を取り巻く現状や国の動向等を踏まえ、主に次の課題に取り組む必要がある。

(1) 多様化する福祉課題への対応

多様な福祉課題を抱えた個人や世帯に対し、福祉施策の横断的な連携による切れ目のない支援が求められている。（「断らない相談支援」、「伴走型支援」）

(2) 地域住民や地域の多様な活動主体との連携の緊密化

福祉課題の解決においては、地域住民をはじめとした地域の多様な活動主体の参画や、地域における住民の支え合いによる仕組みづくりの構築が必要となる。

5 府中市における課題解決の方向性

府中市における課題等を踏まえ、総合的・包括的な相談支援の仕組みづくりを構築する。

- ・複合的な福祉課題を抱える市民への適切な支援を図る取組の一つとして、地域福祉コーディネーターの配置を進めてきた。現在、6 か所の文化センターで毎週困りごと相談会を実施しているが、地域福祉コーディネーターによるアウトリーチを含む早期的な支援を強化する必要がある。
- ・多機関協働による支援は、地域福祉コーディネーター、地域包括支援センター等の専門機関等

の担当エリアを一致している方が進めやすい。

↓

国が進める「地域共生社会の実現」に向けた取組等、福祉施策を取り巻く現状と課題等を踏まえた様々な施策を進めるため、現行の福祉エリア（日常生活圏域）の区分け等を見直す必要がある。

6 新たな福祉圏域の見直しの方向性

文化センター圏域を基礎として構成される新たな福祉エリア（日常生活圏域）に見直す。

7 文化センター圏域を基礎とする理由

(1) 国の重点施策との整合

国が推進する「地域共生社会の実現」では、「住民に身近な圏域」で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援するとしており、府中市では文化センター圏域単位で地域における支え合いの仕組みづくりが進んでいます。

(2) 住民に身近な施設

文化センターには、出張所機能、公民館機能、児童館機能、高齢者福祉館機能、図書館機能などがあり、幅広い世代に向けた施設として、住民に身近な施設である。

また、地域コミュニティや防災等の各分野においても共通の基盤となっている。

＜利用率が高い施設＞		＜平均利用回数（年間）＞	
施設名	利用率	施設名	平均利用回数 （回/人）
庁舎	66.2%	有料自転車駐車場	24.7
文化センター	49.4%	庭球場	22.2
中央図書館	44.7%	中央図書館	13.6
府中の森芸術劇場	42.9%	府中駅南口市営駐車場	12.3
郷土の森博物館	39.4%	地域体育館	11.9
地区図書館	36.1%	地区図書館	11.3
市民会館	35.0%	生涯学習センター	11.1
府中グリーンプラザ	33.3%	文化センター	9.8
生涯学習センター	29.4%	総合体育館	9.0
保健センター	28.2%	市民会館	7.4

府中市の公共施設に関する市民アンケート調査（平成 25 年度実施）結果より抜粋
（対象：20 歳以上の市民 3,000 人 回答：1,146 人（回答率 38.2%））

府中市福祉計画策定のための調査【分野横断】

1 1 圏域別グループディスカッションの概要

1 ねらい

- ・ 地域に根付いて活動している団体の方々から地域における課題と課題解決のためにできることを把握し、地域における住民主体の課題解決力強化の方向性を検討する。
- ・ また、府中市全体の課題と圏域別の課題を整理し、圏域別の取組を検討する。

2 実施概要

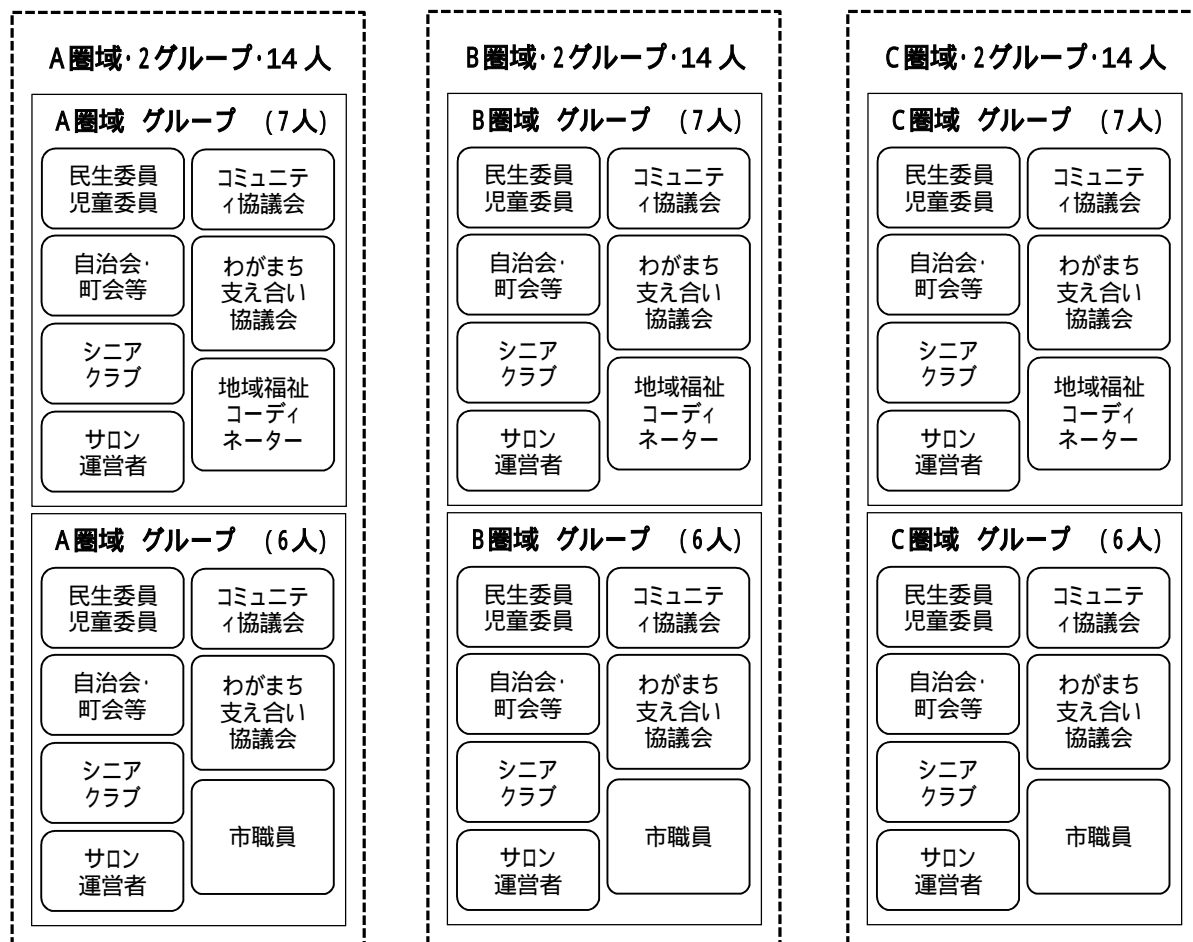
参加者	地域で活動している活動団体の方に各圏域2人ずつ依頼、各圏域 14 人 民生委員・児童委員、自治会・町会等、シニアクラブ、ふれあいいきいきサロン運営者、コミュニティ協議会、わがまち支え合い協議会、地域福祉コーディネーター、市職員等
テーマ	あなたが住んでいる地域のこれからを考えませんか？ 地域の課題(困っていること・課題を抱える人・世帯) 課題を解決するために地域でできること
開催回数	4回(文化センター11 圏域を2～3圏域ずつ開催)、1回2時間程度
実施手法	○ 7人で1グループとし、1回6グループで、グループディスカッション形式の懇談会を実施 ○ KJ法でまとめ、最後に模造紙を張り出し結果共有
当日配布資料	・ 次第 ・ 圏域別データ ・ 参加者アンケート 等

< 日程・会場 >

回	開催日時	会場	対象圏域
第1回	10月26日(土) 9:30～11:30	市役所3階会議室	白糸台文化センター圏域、押立文化センター圏域
第2回	10月27日(日) 14:00～16:00	市役所3階会議室	中央文化センター圏域、新町文化センター圏域、紅葉丘文化センター圏域
第3回	11月9日(土) 14:00～16:00	府中駅北第2庁舎 2階会議室	住吉文化センター圏域、是政文化センター圏域、四谷文化センター圏域
第4回	11月10日(日) 9:30～11:30	府中駅北第2庁舎 2階会議室	西府文化センター圏域、武蔵台文化センター圏域、片町文化センター圏域

3 1 会場の参加者の構成

- ・ 1 圏域各団体から 2 人程度で計 14 人参加し、2 グループを構成する。
- ・ 3 圏域同時開催で 6 グループ、42 人参加する。



4 当日の内容

- ・ 2 時間程度で実施。

1. 開会、趣旨説明、あいさつ (5 分)
2. 事例紹介 (15 分)
3. グループごとの時間 (70 分)
 - (1) 話し合いのルール説明 (2 分)
 - (2) グループごとの自己紹介 (8 分)
 - (3) グループごとの話し合い : 地域の課題 (困っていること・課題を抱える人・世帯) (30 分)
 - (4) グループごとの話し合い : の課題を解決するために地域でできること (30 分)
4. 休憩 (10 分)
5. 結果共有 (15 分)
6. 閉会、アンケート記入 (5 分)

府中市福祉計画策定のための調査【分野横断】

グループインタビューの概要

1 地域福祉の担い手グループインタビュー

- ・ 日ごろの活動状況や活動する上での課題、府中市との協働に向けた意向を把握し、今後の支援方法、市との協働の方向性を検討する。

対象者	地域福祉の担い手(ボランティア団体、NPO 法人、認知症サポーター(キャラバン・メイト)、地域貢献活動を行っている社会福祉法人・企業等)
実施時期	令和元年 10・11 月、曜日・時間等は検討
場所	市役所
実施手法	5～6人のグループインタビュー、2グループ
テーマ(案)	活動状況(事前にアンケートで把握) ○活動人数、活動内容、エリア、今後力を入れていきたいこと等 活動をする上での課題 ○活動上の問題点 ○支援等を行う上で難しい事例 ○圏域を変更した場合の課題 府中市の課題 ○府中市の地域課題として考えていること ○解決や支援が困難なケース 府中市との協働の方向性 ○府中市と協働で行っていること、課題 ○府中市と協働で今後行いたいこと

2 相談支援機関グループインタビュー

- ・ さまざまな相談機関の現状と課題等を把握し、多機関協働による包括的な相談支援体制の方策を検討する。

対象者	地域福祉推進課、生活援護課（相談担当、自立生活支援担当）、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター、地域生活支援センター、子ども家庭支援センター、社会福祉協議会等
実施時期	令和元年 10・11 月、曜日・時間等は検討
場所	市役所
実施手法	5～6 人のグループインタビュー、2 グループ
テーマ(案)	相談の現状 ○ 複合的な課題を抱えるケースの事例、対応 相談の課題 ○ 複合的な課題を抱えるケースに支援が難しいと感じること 多分野で連携を進めていく上での現状と課題 ○ 連携の現状と課題 ○ 圏域内・圏域外の連携、圏域を変更した場合の課題 多機関連携の方向性 ○ 調整役・調整会議等のあり方

3 生活支援機関グループインタビュー

- ・ 市民の普段の生活を支える事業者・企業から地域課題を把握するとともに、今後の地域貢献の方向性、市と協働の方向性を検討する。

対象者	普段の事業活動から地域の課題を把握している府中市内の生活関連の事業者・企業
実施時期	令和元年 10・11 月、曜日・時間等は検討
場所	市役所
実施手法	5～6 人のグループインタビュー、2 グループ
テーマ(案)	事業所概要（事前にアンケートで把握） ○ 職員数、事業内容等 地域貢献活動の内容 ○ 地域貢献活動をしている場合の内容 事業活動をする上で感じる課題 ○ 事業活動をする上で直面する困難ケース ○ 事業活動をする上で考える地域課題 府中市との協働の方向性 ○ 府中市と協働で行っていること、課題 ○ 府中市と協働で今後行いたいこと